

# 志學館大学での 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和4年8月26日(金) 16:00～17:10

場所: 志學館大学

令和4年12月

鹿児島市 市民協働課

# 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年8月26日（金）16：00～17：10  
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	志學館大学 学生	<p>タイトル：城鹿町活性化計画</p> <p>御楼門から照国神社間で、大島紬や甲冑を着用して散策できる体験型観光を企画し、衣装着用者に対して施設の割引等を実施。</p> <p>市電について、貸切サービスの拡散・発信を行い、案内サポートスタッフを配置し、観光客の利用しやすさ向上を図る。</p> <p>また、市電を熊本市のようにツーマン体制にし、出口を2つとすることができ、通勤通学時の混雑緩和やダイヤの順守につなげる。</p>	<p>体験型観光は、伝統的工芸品の振興に繋げることができると思う。紬の良さをPRするには、まず自分たちが着てその良さを知ることが大事であり、体験型観光はそのきっかけになると考える。</p> <p>これに関連して「文化ゾーン」があり、県立博物館、市立美術館、近代文学館・メルヘン館、県の黎明館、そして宝山ホールにはプラネタリウムもある。様々な文化施設が集まっており、ここの振興も含めて、県と市と連携できればよい取組みとなると考える。</p> <p>市電については、混雑時の対策について取り組んでいく必要があると考える。例えばオーストラリアでは電車で精算機が設置されており、利用者はそのまま降車して駅で清算をするため、出口で混雑が生じない。すぐに導入することは難しいが、色々な方法を考えていきたい。</p> <p>市電の貸し切りについては、ぜひ利用していただきたい。</p>	観光交流局 交通局	<p>【観光交流局】</p> <p>提案の歴史・文化ゾーンでは、現在民間事業者において、着物や甲冑の着付け体験のサービスが提供されているほか、本市においては、体験型の観光メニューとして同ゾーンの名所・旧跡をボランティアガイドと一緒にめぐる「鹿児島ぶらりまち歩き」を実施しているところである。</p> <p>また、同ゾーンでは、県が御楼門を活用した参加体験型イベントを定期的で開催しているほか、県市の文化施設で構成するかごしま文化ゾーン連絡会においてスタンプラリーなどの取組も行われている。</p> <p>こうした取組との連携・協力を進めることにより、同ゾーンのさらなる活性化を図ってまいりたい。</p> <p>【交通局】</p> <p>市電の貸切については、SNSやHP等で更なる周知を行うほか、今後交通局ホームページに予約申込フォームを構築するなど利用促進策にも取り組んでまいりたい。</p> <p>ご提言のスタッフについて、観光電車内でのボランティアガイドによる案内を実施していた際は、貸切電車でも要望があれば、ガイドを手配していたが、観光電車の廃止に合わせ、ガイドも廃止したところである。</p> <p>また、ツーマン体制についても、以前は運転士と車掌が乗務するツーマン体制で運行をしていたことがあるが、人員確保が困難であること及びコスト縮減、車内スペース確保による乗車定員増のため、ワンマン体制へ移行した経緯がある。</p> <p>なお、混雑対策については、朝夕の（通勤・通学）ラッシュ時に、できる限りの増車対応を行っている。</p>

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年8月26日（金）16：00～17：10

場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	志學館大学 学生	<p>タイトル：かごんマース</p> <p>市バスや民間バス、市電、JR等の経路を一つのフォームで検索することができるシステムを構築することで、利用者は経路を比較検討することができ、最適な移動方法を見つけることができる。</p> <p>また、電子決済を統合することで、移動毎の支払い時間が短縮され、外国人観光客は外貨交換せずに決済が可能となる。</p>	<p>MaaSは非常に重要なテーマであると考え、庁内で色々な検討を行っている。</p> <p>海外では、目的地へ行くための乗り換え、運行状況、料金が分かり易いシステムがあり、外国人観光客にとって使いやすいと感じた。鹿児島市でもこのような状態を目指したい。</p> <p>市ではかごりんについて、システムを入れ替えてスマホ等から検索できるようにしたいと考えている。</p> <p>将来的には、バス、タクシー、かごりん等をMaaSに含める仕様を作っていきたい。</p> <p>今後公共交通は、人口が減少が進む中で採算性が厳しくなる。このテーマに着目していただいたので、どのように利便性が向上すれば、車以外の電車、バスの利用が増えるかを、ぜひみなさんに考えていただきたい。</p>	企画財政局 環境局 交通局	<p>【企画財政局】 市長回答のとおり。 引き続き、県とも連携しながら検討を進める。</p> <p>【環境局】 さらなる利便性・回遊性の向上を図るため、現在、スマートフォンアプリを利用した新たな「かごりん」の導入に取り組んでおり、令和5年度中の供用開始を予定している。 MaaSへの参画については、関係部局と連携を図りながら、検討を進めてまいりたい。</p> <p>【交通局】 経路検索については、令和元年度から市内交通事業者が共通で検索できる「もくいく」アプリを導入しているほか、令和2年度に交通データに係る国の標準仕様であるGTFS-JPデータを整備し、Googleその他の経路検索サイトにデータを公表している。 MaaSへの参画に向けては、積極的な情報収集に努めているところである。</p>
3	志學館大学 学生	<p>タイトル：鹿児島市の少子化対策</p> <p>子どもがいない理由として、「パートナーがいない」が多かったため、未婚者への施策として、市独自のマッチングアプリを提供し、若者向けの出会いを創出する。</p> <p>また、子育て世帯への施策として、第3子の児童手当を増額する他、町内会加入率を上げ、地域で子育てを行う環境や、企業内での育児休暇制度等を整える。</p>	<p>少子化対策は本市だけでなく国全体の大きなテーマである。</p> <p>マッチングアプリは若い学生さんならではの面白い発想である。一方で、登録された情報の信頼性という課題があり、この問題を解消できれば非常によいと考える。</p> <p>日本の出生率は下がってきているが、結婚している夫婦の出生率はほぼ横ばいの状況であり、結婚率が下がっている。そのため、早く結婚できる、したくなるような仕組みを作る必要がある。</p> <p>また、現在子どもがいる方々に、3人目を生んでもらうことも非常に大切であり、そのための補助政策を考えていかなければならない。</p> <p>地方自治体として、どのようなことができるかを重要なテーマとして考えていきたい。</p>	こども未来局	<p>【こども未来局】 市長回答のとおり。</p>

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年8月26日（金）16：00～17：10  
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	志學館大学 学生	<p>タイトル：鹿児島市を公共交通最先端のまちへ（～かごしまのバス停・電停をアップデート）</p> <p>バスの運行状況がリアルタイムで分かる液晶型のバス停を設置し、時刻表や遅延情報、路線図、市からのお知らせなどをどの世代にも見やすい1つの画面で提供する。広告枠を民間企業に提供し、広告収入を得る。</p>	<p>バス停・電停をデジタル化することで、紙の場合に比べて更新や臨時便などの情報提供など、メンテナンスの面でもメリットがある。広告収入が見込める乗降者数が多い停留所から実験をしてみるとよいのではないかと考える。</p> <p>また、この取り組みは、災害が発生した時などにダイヤが乱れた際には、その情報を英語だけでなく多言語で伝えることができるなど、今後増えていくであろう外国人への対応について可能性を大いに感じる。</p>	企画財政局 交通局	<p>【企画財政局】 市長回答のとおり。</p> <p>【交通局】 天文館等の主要バス停は共同バス停であり、鹿児島県バス協会において、ロケーションシステムと連携したデジタルサイネージの整備を検討している。 電停への整備については、費用面で大きな課題があるものの、今後、整備に向けて検討してまいりたい。</p>
5	志學館大学 学生	<p>タイトル：Re：かごしま（鹿児島市におけるDXの醸成と天文館区域での活用について）</p> <p>天文館地域において、オンラインでリアルタイムの人流を把握し公開することで、個々人の感染対策や防犯対策、企業の商業戦略に活かす。</p> <p>また、把握したデータをもとに、人通りが少ない場所にある空き店舗は芸術家へのアトリエとして、人通りの多い場所にある空き店舗は個展会場や作品展示の場所として開放する。 デザインやペインティングで、天文館を華やかな通りにする。</p>	<p>街おこしを分析する上で人流の把握は実施したいと思っている。やり方としてカメラや携帯の電波を利用する方法が考えられるが、カメラについては、プライバシーの面から厳しいのではないかと思う。 その課題をクリアできればとても良い案である。</p> <p>ビッグデータについて触れていたが、私もこれからはできるだけ行政が把握しているデータを共有して活かしていくことを考えている。 どのようなデータがオープンになれば活用できるか、提案していただけるとありがたい。</p>	総務局 産業局	<p>【産業局】 商店街等の活性化を図るうえで、人流データは重要な基礎資料になると考える。 全国主要地域の人流データについては、内閣官房の「新型コロナウイルス感染症対策」のサイトに掲載されており、鹿児島県では天文館地区のデータが公開されている。 本市では、このデータを参考にし、新型コロナウイルス感染拡大前の人流に対し、日中と比べ夜間の人流回復が遅れていたことから、「プレミアムポイント事業（感染拡大防止に取り組む飲食店を利用した場合に様々な業種の店舗で利用できるプレミアムポイントを付与）」においては、夜間の飲食店利用について、プレミアムポイントの付与率を5%加算する取組を行ったところである。 また、商店街の活性化については、本市が実施した歩行者通行量調査の結果を市ホームページで公開しており、商店街が行うイベントや装飾、空き店舗対策などの取組の成果指標として活用されている。</p> <p>【総務局】 リアルタイムの人流把握については、市長発言のとおりであり、見込まれる効果やコスト面を踏まえて検討する必要がある。 ICTを活用した各分野の取り組みについては、各事業課と連携しつつ、推進していく。 また、オープンデータの活用について、本市では、鹿児島市地図情報システム「かごしまiマップ」の位置情報を公開している。 これらオープンデータの活用についても、引き続き促進していく。</p>

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年8月26日（金）16：00～17：10  
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	志學館大学 学生	鹿児島市は今特に子育て支援に力を入れていると思うが、市長が考えるこれから取り組むべき課題はどのようなものがあるか。	<p>現在4歳と2歳の子育て中であり、子育て支援に力を入れているところである。</p> <p>その中で待機児童の問題を解消しなければならないと考えている。本市は全国でも悪い状況であるため、これから2年間しっかり取り組んでいく。</p> <p>なぜ待機児童の解消にこだわるかという点、その先にある保育の質を向上させたいからである。量が足りない間は選ぶことができないが、量が足りてくれば、その中で競争が始まるので、どちらの方が自分の子供にとっていい保育が受けられるかを比べることができる。</p> <p>そのためにまずは量の問題を解決する必要がある。</p> <p>また、本市で子育てをしたいと思ってもらうために、仕事をつくる必要がある。仕事がないと帰ってこれないためである。また、教育面で、都会よりも鹿児島市で教育を受けさせる方が子どもの可能性が広がると状況を目指したいと考えている。</p> <p>学生のみなさんが、一旦県外に出ていったとしてもまた帰ってきたくなるようなまちを作っていきたい。</p>	企画財政局  こども未来局	【企画財政局】【こども未来局】 市長回答のとおり。
7	志學館大学 学生	<p>講義で鹿児島市は支出が多いと学んだ。外貨を得ることが市を発展させるために必要なことと考える。</p> <p>マリンポート鹿児島を有効活用し、陸・海・空からもアクセスがよいということアピールして外国人観光客を増やすことで、外貨を得ることができる。</p> <p>そこで、現在は厳しいかもしれないが、アフターコロナでマリンポート鹿児島を今より活用する考えがあればお聞かせいただきたい。</p> <p>また、外貨を得るために何か対策があれば教えていただきたい。</p>	<p>マリンポート鹿児島の有効活用については、県と連携して、海上交通の利便性を上げることに取り組んでいる。具体的には県が浮棧橋を設置したので、これからはクルーズにきた方々が北ふ頭や、桜島に行ったり、船で大隅方面へ行くことが向こう数年でできるようになる。</p> <p>陸に関しては、マリンポート鹿児島から鴨池方面に人工道路が数年後にはできる予定であり、アクセスが向上すると考えている。</p> <p>外貨を稼ぐためには、観光が軸になると思っており、これからは、観光客の数ではなく、1人当たりの消費額を増やすことが重要である。具体的には、可能な限り長期間宿泊していただくことと、昼に比べて客単価の高い夜にお金を使っていたことに力を入れていきたい。</p>	観光交流局	【観光交流局】 市長回答のとおり。

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年8月26日（金）16：00～17：10  
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	志學館大学 学生	市長は今日のように市長と語る会を多く開催されているという記事をみた。市民から出された意見の中で、興味深いと思った意見があるか。	若い人の町内会加入率をどうやって上げていくかという意見について、今年の3月からホームページで引越先住所の町内会が分かるようにし、さらにWebで加入申し込みができるようにした。 また、町内会の運営も負担があると聞いているため、会費の徴収や会報、回覧板のデジタル化を検討している。  皆さんの意見を少しでも反映できるように取り組んでいるところである。	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。
9	志學館大学 学生	最近市長が40代前半だと伺ったが、鹿児島県内や九州で若い市長が誕生して、子育て支援やコロナ対策などに強い発信力を示されているが、同じ年代の若い市長に対して、下鶴市長は負けないように頑張ろうなど意識されているのか。	若い首長は実は皆友達である。奄美市の安田市長、霧島市の中重市長、熊本市の大西市長、そして宮崎市の清山市長など、県議時代からの友達である。 交流があり、もちろん意識しているが、刺激も受けている。また、情報交換も密に行っている。例えば、コロナが増えてきた際の対応など、熊本市長、宮崎市長と3人でZoomやグループラインで意見交換を行った。よりよい行政サービスが提供できるように、切磋琢磨しながら、協力しているところである。	総務局 企画財政局	【総務局】 令和3年度から全国青年市長会に加入し、同市長会会員市の行財政に関する情報の収集及び会員相互間の意見交換を行っている。  【企画財政局】 本市が参画している「かごしま連携中枢都市圏」や「錦江湾奥会議」においても、4市中2市の市長が若い市長である。  (参考) 連携中枢都市圏構想・・・近隣の市町村と連携し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する。鹿児島市、日置市、いちき串木野市、始良市で構成する「かごしま連携中枢都市圏」では、4市の多様な資源・産業・人材の活用などを行っており、セミナー等を開催する際の情報連携や、圏域内に住む市民へ図書館や子育て支援施設の広域利用等に取り組む。  錦江湾奥会議・・・鹿児島市、垂水市、霧島市、始良市で構成。環境、水産、観光、交通、防災、教育などに関わる様々な施策・事業について連携し、地域活性化を図る。

## 「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年8月26日（金）16：00～17：10  
場所：志學館大学

番号	発言者	提案等要旨	市長発言要旨	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	学長	<p>50万都市である本市は都市型生活とやや田舎の生活ができる非常に住みやすい都市である。</p> <p>しかし、何もしないとどうしても都市型が進むので、ぜひこの50万都市を維持あるいは発展させていけるように取組んで欲しい。</p> <p>紫原から郡元にかけては、鹿児島大学、志學館大学、純心女子短期大学があり、これは市の中での文教地区といえる。</p> <p>あまりそのような見方をしていただけないため、何かのうちに、市にはこのような特徴的な地域があるという認識が持たれるようになってほしい。</p>	<p>程よく都会で程よく田舎なところは、本市の売りであると考える。</p> <p>私は18歳から27歳まで東京で暮らしていたが、鹿児島に帰ってきて、1時間を超えていた通勤時間が短くなったことについて、よかったと感じている。他にも、東京では電車で1時間かけて行き、3,000円払う必要があった温泉に、鹿児島市では近場で400円で入れることも、鹿児島に帰ってきてよかったと思う点である。</p> <p>このような本市の価値が皆さんに広まって欲しいと考える。程よく都会、程よく田舎というコミュニティを維持していくために、色々な面でのICT活用を考えている。これから人口が減り更に高齢化していくため、同じ仕組みで同じ福祉サービスを提供していくことは困難になる。そこでICTの力を借りながら、質は落とさずに住みたい場所で豊かに生活できるサービスを提供していきたい。</p> <p>直近の課題は、いかに公共交通を維持していくかが大きなテーマであり、本日学生のみさんから公共交通について提言をしていただき嬉しかった。</p> <p>文教地区については、今日学長に気づかせていただいた。今後、この地域やコミュニティの方々と一緒に、特徴的な地域であるということが広まるよう取り組んでいけたらと思う。</p>	<p>総務局 企画財政局 市民局</p>	<p><b>【総務局】</b> ICTを活用した各分野の取り組みについては、各事業課と連携しつつ、推進していく。</p> <p><b>【企画財政局】</b> 市長回答のとおり。</p> <p><b>【市民局】</b> 鹿児島市の今後10年のあるべき姿や進むべき方向について基本的な指針となる「第六次鹿児島市総合計画」において、地域別に計画を定めており、鴨池地区は、「大学が有する豊富な人的・知的・物的資源や機能等を地域づくりに積極的に活用します。」と基本的な方向を定めている。 引き続き、町内会や地域コミュニティ協議会による当該大学等との連携による地域づくりを支援していきたい。</p>